

凌雲の会 会派研修報告書

焼津市議会議長 村松 幸昌 様

凌雲の会
(報告者:内田)

令和8年1月15日に、凌雲の会で研修に参加しましたので、次のとおり報告します。

[期間]

令和8年1月15日(木)

[参加者]

石田 江利子、村松 幸昌、河合 一也、増井 好典、内田 修司、四之宮 慎一、
井出 哲哉

[研修先]

- ・株式会社 オカムラ
- ・三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

[研修内容および感想]

1. 株式会社 オカムラ

株式会社 オカムラは昭和20年(1945年)創業のオフィス家具を製造販売を行っている。近年オフィス家具だけでなく、オフィス・ソリューションとして多くの製品を提供している。「はたらく」を、"ありたい姿"へをコンセプトにオフィス環境の改善を行っており、今回はショールームでさまざまな機器類を実際に見て感じると共に、DX関連の製品を見学した。

中でもリアルタイム翻訳ディスプレー:ビューボディスプレイは双方向で発言を翻訳

し、ディスプレーしてくれる装置で120種類の言語に対応している。ネットワーク環境があれば、どこでも設置でき、移動も容易であった。すでに市役所の窓口でも同様のディスプレーを使用しているが、モンゴル国の訪問団との会談時など持ち運びも容易で、初期費用はなく、月額使用料金で利用できる点も魅力であると感じた。また、同じ会社の製品である議事録作成システム：ビューボは指向性マイクを使い、同時に八方向にいる人の会話を聞き分け、翻訳もでき、議事録としてテキスト化ができる製品である。この製品は指向性マイクをネットワークに接続し、クラウドで処理し、表示はブラウザで行うなど、マイク以外は機器は不要である点もすばらしいと感じた。議事録として保管できるほか、要約もできる点も議会の委員会での使用もできると感じた。

DX・AI 関連での製品の進化はめざましく、適宜使いやすい製品を使用することによって、身近な業務の合理化ができると感じた。

2. 三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

1) GX 関連

GX（グリーントランسفォーメーション）は脱炭素社会の実現を目指し、化石燃料中心の社会経済システムを、再生可能エネルギー中心の持続可能なものへと変革していく取り組み全般を指すが、一般的には再生可能エネルギーを使う・作ることが主となっている。GX 関連の取り組みとしては、経産省や環境省の管轄で EV, FCV、省エネルギー関連、水素、DC 地方分散などの分野で行われている。地方での実績としては

山口県宇部市 コンビナート再生

三重県鳥羽市 海洋プラスチックの再資源化

鳥取県米子市 ローカルエネルギー：地域内での再生可能エネルギーの地産地消などがある。焼津市でも海洋プラスチックが地域産業である漁業に与える影響は問題であるため、興味深く内容を聞いた。

焼津市としても、ゼロカーボンシティを表明しているものの、具体的な取り組みとしてはこれからというところである。焼津市での具体的な取り組みには、GX に精通した GX-Tech 企業とのマッチングを行うことや観光から GX につないでいくことなどを教えていただいた。環境問題への取り組みにあたり、経済性との両立が課題であり、内外をつなぐ中間組織を構築することが大事であり、地方自治体としては GX に精通した人材を確保することが課題との指摘があり、これらの人材については共同で確保するなどの方策があることを指摘いただいた。

2) DX・AI 関連

DX・AI 関連として、Vibe コーディング（バイブルコーディング）の実演をいただいた。Vibe コーディングとは、AI と人間が自然言語で対話しながらソフトウェアを開発する新しい手法である。まず初めに、どのようなことを解決するかをわれわれに問われ、焼津市に観光で訪れるるとするとどんな場所に行ったらいいかを提案するようにリクエストすると、いくつかのツアーケースを AI が提示した。これにつきつぎと項目を追加していく。（例えば、小泉八雲の関連を追加や焼津温泉を強調など）これで出てきた内容をベースに焼津観光の HP の仕様書を作成するように依頼する。作成された仕様書を別サイトで AI による HP 作成を指示すると、約 10 分程度で写真を含む魅力的な HP が作成された。写真はインターネットで取得できるものとなっていることや全体のコンセプトがやや固い表現等が見られたが、追加の指示でターゲットを子ども連れの家族層を指定すると写真なども家族連れのものに変わり、表現も柔らかくなるなど、細かなコーディングをせずとも、簡単な指示ですぐに印象が変わるなど、AI と DX の進化を実感できた。今まで、こういった HP の作成にはさまざまなヒアリングを繰り返し、イメージのモックアップを何度も作り替えたのちにイメージの確定までいくが、これらの作業に 1、2 ヶ月の期間を要していた。それが、ほんの 1、2 時間で完了してしまうなど、仕事のやり方も変わってしまうと感じた。

焼津市としても、SNS や HP などのデジタルメディアでの情報発信はたいへん重要であり、焼津温泉や観光コンテンツ、ふるさと納税などのアピールのためにこのようなやり方で HP のプラッシュアップを継続していくことの価値を再認識した。